

第3章 計画の基本的な方向

第3章 計画の基本的な方向

1 計画の基本理念

【基本理念】

誰もが住み慣れた地域で支え合いながら
安心して自分らしく暮らせるまちづくり

2 基本目標

上記の基本理念のもと、6つの基本目標を軸に施策を推進していきます。

基本目標1 いきいきと自分らしく生きがいを持ち暮らせるまちづくり

- 各地域で住民主体の健康づくりや介護予防に取り組める通いの場（タピオステーション）の立ち上げ支援を行うとともに、地域共生社会の拠点の1つとして地域の支え合いや助け合いの場として継続するよう支援します。
- 総合事業の充実を図り、個々の状態に応じたサービスの選択ができるよう多様なサービスの創出に努め、希望や生きがいをもち暮らせるまちづくりを推進します。

基本目標2 誰もが支え合い・助け合いつながるまちづくり

- 制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創る「地域共生社会」の実現を目指し、地域福祉計画と連携した取組を推進していきます。
- 高齢者の抱える課題は今後ますます複雑化・複合化しており、地域の中核的位置づけとなっている地域包括支援センターにおいて相談支援体制を強化するとともに、令和5年度より地域づくりを加速化するため重層的支援体制整備事業を活用し、地域包括支援センターに職員を1名増員配置しました。これにより、さらに地域に出向いての相談体制の充実を図るとともに、個別ケースから地域課題を把握し、各地域での支え合いや見守り体制などの構築支援に取り組みます。

基本目標3 住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられるまちづくり

高齢化に伴い、今後医療や介護の両方のニーズを併せもった高齢者の増加が見込まれます。「高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる」よう、熊取町医療介護ネットワーク連絡会（ひまわりネット）をはじめ、泉佐野市以南の3市3町及び泉佐野・泉南医師会が協働し、高齢者が自分らしい暮らしを選択できるように、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供するための体制構築に努めます。

基本目標4 認知症と向き合い共に暮らせるまちづくり（認知症施策推進計画）

認知症は誰もがなりうる病気であり、家族や身近な人が認知症になること等も含め、多くの人にとって身近なものとなっています。認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のより良い環境で自分らしく暮らし続けることは多くの人の願いです。

本計画は、認知症基本法に基づく「認知症施策推進計画」を一体的に策定し、認知症の人を含めた住民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力あるまちづくりを目指し、施策を推進していきます。

基本目標5 安全、安心、快適に暮らせる住まいとまちづくり

高齢者が気軽にかけられる公共交通機関の整備や利用しやすい公共施設の整備、快適な居住環境など高齢者にやさしいまちづくりを推進します。

また、高齢者が災害や感染症の脅威に直面した場合にも安全を確保できるよう、関係機関と連携し対策を進めます。

基本目標6 福祉・介護サービスの充実強化





本町の中長期的な人口動態や介護ニーズの見込みなどを見据え、計画的な施設整備について検討します。

今後、生産年齢人口の減少に加え、後期高齢者の増加に伴い介護人材不足が懸念されます。そこで専門職に限らず、地域の多様な主体が、多様なサービスの担い手となることが重要です。そのため、関係者が連携し人材の育成や確保に取り組むことが必要です。

3 施策体系



このマークが付いている施策は第9期計画における重点施策です。

基本理念	基本目標	施策の展開
誰もが住み慣れた地域で支え合いながら安心して自分らしく暮らしを営む	1 いきいきと自分らしく生きがいを持ち暮らせるまちづくり	1. 介護予防・自立支援の推進 ～地域でフレイル予防！ひろげよう タピオステーションの輪～  2. 介護予防・生活支援サービス事業の充実 ～ふれあい元気教室で目指せ若返り～  3. 健康まちづくりの推進 4. 生きがいづくりと社会参加の推進
	2 誰もが支え合い・助け合いつながるまちづくり	1. 地域支え合い体制の整備（地域共生社会の実現） ～思いやりの輪・笑顔の輪を広げよう～  2. 高齢者の見守り支援 3. 地域包括支援センターの機能強化 4. 地域ケア会議の充実 5. 権利擁護の推進
	3 住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられるまちづくり	1. 切れ目のない在宅医療・介護連携の推進 2. 住民への周知啓発、理解促進
	4 認知症と向き合い共に暮らせるまちづくり	1. 認知症に対する理解の促進 2. 予防・社会参加の推進 3. 認知症に理解のある共生社会の実現 ～つながり 支え合う チームオレンジで～ 
	5 安全、安心、快適に暮らせる住まいとまちづくり	1. 災害時等における高齢者支援体制の確立 2. 住まいとまちづくりに関する施策の推進
	6 福祉・介護サービスの充実強化	1. 介護保険制度の適正・円滑な運営 2. 人材育成・確保 3. 家族介護者への支援

